

■ 昨年の社会実験「マイアミフェスタ」を経て、「マイアミ通りまちづくり協議会」が設立されました！



第1回マイアミ通りまちづくり協議会

- 日時 2024年5月21日（火）18:00～19:30
- 場所 鹿児島市役所 東別館1102会議室
- プログラム
 1. 協議会の設立について
 2. 自己紹介
 3. 渡和由先生ご講演「プレイスメイキングの考え方を取り入れたまちづくり」
 4. 質疑・意見交換
 5. 今後の進め方

R5.11.26 マイアミフェスタの実施

地元の方々との連携により、歩道空間に出店や休憩スペースなどを設置する社会実験「マイアミフェスタ」を実施。
市民の反応や回遊性の向上などを確認しました。



R6.4.23 意見交換会の開催

歩いて楽しめるまちづくり推進事業や社会実験の結果などを説明し、新たな協議会の設立について呼びかけました。
県からも、本港区のまちづくりについて情報提供がありました。

R6.5.21 まちづくり協議会の設立

沿道地権者や周辺の店舗・住民の方々が会員となり、マイアミ通りの歩道改修やマイアミフェスタの継続実施などについて、市と共に話し合い、取り組む組織として、「マイアミ通りまちづくり協議会」を設立。

渡和由先生（筑波大学大学院非常勤講師、法政大学デザイン工学研究科兼任講師）の講演では、「プレイスメイキング」の考え方や、国内外の事例を多数紹介いただき、活発な意見交換が行われました。

■ マイアミ通りの歩道改修後の活用イメージ

〈現況断面図〉



出店事例(マイアミフェスタ)

マイアミ通りとは・・・いづろ交差点からドルフィンポート跡地までの約350mの区間です。

■ 渡先生からのアドバイス 10選

—マイアミ通りを居心地のよいストリートにしていこうために—



- ①プレイスメイキングは**即興的、変幻自在な居場所作り**の考え方。一過性のイベントやにぎわい作りが目的ではない。
環境資源やスキマ空間を活用して、**心地よさと楽しさを目指す場所と枠組をつくる。**
- ②道路空間の活用の場合、**8つの場要素***の中でも**特に陰り場（日陰）**の作り方が重要。
- ③マイアミ通りには**活動に使えるようなスキマ空間があるので、整備前に少しずつ実験的な取り組みをしていくとよい。**
- ④沿道建物の**軒先など、道路との境目のスキマ空間に「居場所セット」（イス・テーブルなど）を配置する**事例もある。
- ⑤活動は皆で合意するまで突き詰めないで、**無理をせず、一人でもできること・やってみたいことから始める**ことが重要。
- ⑥**関わる人を増やす**ことも必要。使い方を発想して本気でトライする人たちがたくさん集まると、**スピード感・パワーが増す。**
- ⑦**イス・テーブルなどは、使っているシーンが見られるようになると段々と使われるようになる。**
- ⑧座りたくなる、使いたくなるためには**デザインも重要**。例えばイスは可動式で、背面・座面が木製の折り畳み式がおすすめ。
- ⑨可動式の**イス・テーブルなどを保管する倉庫は、出来るだけ使う場所の近くに設置**することが望ましい。
- ⑩そこで過ごしたくなる**良い眺めとは小さな花壇など、そこにあるものや緑と人が「借景」になる。**大げさなものでなくて良い。



* 8つの場要素とは・・・飲食、ひと休みなど、具体的に「～したくなる」、居心地のよい空間づくりのために必要となる要素

■ 8つの場要素の組合せ

基本：座り場＋複数の場を用意（8つの場要素を組み合わせて人の居場所をつくる）



35

▲ 出典 UR都市機構HP (<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/placemaking/machiindex.html>) より引用

■ 参加者の感想・意見 —当日のアンケートより—

稼ぐ力のある歩道、先進的、未来的、
実験的なストリートに挑戦してみたい

面白い事例を聞けて、
面白いアイデアが
生まれそう！

できないことを探すのではなく
今から、今でも、出来ることから
まずは「始める」協議会になると良い

定着するまでの
協力関係づくりが大切

住民と行政の動きは
共に大事

道路上の風景を変えると
人が多くなるのでは

沿道地権者に参加してもらい
納得を得ることも大切



鹿児島の降灰とアウトドアをどう解決するか？

ポテンシャルを残しつつ、屋外空間を活用できていないのは、降灰と平均気温の高さが原因ではないか。

第4回協議会（8月下旬以降予定）で、
渡先生からご回答・解説していただきます！

協議会は今年度、月1回程度開催する予定です。ご参加を希望される方は事務局までご連絡ください。